学校番号	１２０７

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解世界史 A　（帝国書院）						
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表　二訂版　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の大きな流れを感じる。
・歴史的事象の相互の関連性を考える。
・歴史を背景を理解し、現在の日本や世界の問題について考える視点を持つ。

2　学習の到達目標

・歴史の諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・世界の歴史を理解し、国際化する社会に生きる個人としての知識と主体性を養う。
・現代の諸課題について、歴史的背景と結び付け、その側面を考慮に入れながら、考察することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際化する社会に生きる個人として主体的に責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・授業の発言と発表 ・課題の成果 ・定期試験	・授業の発表 ・課題の取組状況と成果 ・プリントのメモ状況	・定期試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	2部　地球社会と日本	1 章　現代世界の芽生えと世界大戦 1 節　現在につながる社会の形成	○	○	○	○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質を人類史的視野から考えようとしている。 b:19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:産業構造の変化や大量消費社会・大衆社会の始まりなど，20 世紀という時代の特質を人類史的視野から把握するとともに，欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

1学期	2部　地球社会と日本	2 節　第一次世界大戦がもたらしたもの	○	○	○	○	a:第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義などに対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，20 世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。 b:第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義について考察し，20 世紀初頭の変化の様相について考察し，一連の思考の過程を適切に表現している。 c:第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義と 20 世紀初頭の変化の様相に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:第一次世界大戦の原因と性格，ロシア革命の展開とそれが世界に与えた影響，戦争と革命による国際秩序の変化，国際協調とヴェルサイユ体制，アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	2部 地球社会と日本	3節 ″民族自決″を求めて	○	○	○	○	a:インド・中東および東アジアの民族運動に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，″民族自決″を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。 b:インド・中東および東アジアの民族運動について考察し，″民族自決″を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考察し，一連の思考の過程を適切に表現している。 c:インド・中東および東アジアの民族運動と″民族自決″を求めたアジアのナショナリズムの動きに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:第一次世界大戦後，インド・トルコ・中国などの民族運動が大衆的基盤をもち，アジア諸民族の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	2部 地球社会と日本	4節 経済危機から第二次世界大戦へ	○	○	○	○	a:世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格などに対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，現代の戦争の特質と平和の意義について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b:世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義などについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義などに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義について理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	2部 地球社会と日本	2章 冷戦から地球社会へ 1節 冷たい戦争の時代	○	○	○	○	a:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向について関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向について理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	2部 地球社会と日本	2節 冷戦終結への道のり	○	○	○	○	a:市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容に対する関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b:市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 c:市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容について理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

3学期	2部 地球社会と日本	3節 地球社会への歩み	○	○	○	○	a:冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について関心を高め，意欲的に追究するとともに，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b:冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 c:冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

3学期	2部 地球社会と日本	4 節 持続可能な社会をめざして	○	○	○	○	a:事例を通して"共に生きる世界""持続可能な社会"について考察することで，その構築に向けての方策を意欲的に探ろうとしている。 b:事例を通して"共に生きる世界""持続可能な社会"について考察し，判断し，その構築について展望をもっている。 c:"共に生きる世界""持続可能な社会"に関する資料を用いて追究した過程や結果について，報告書にまとめたり，発表や討論をしたりしている。 d:地球規模での問題の出現を理解し，"共に生きる世界""持続可能な社会"を構築するための展望をもち，その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。